

令和7年度大学生・専門学校生 薬物に関する意識調査

調査結果

本調査の質問 1～21-1、23 は関西四大学（関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学）が実施する「薬物に関する意識調査」と同じ項目で実施しております。質問 21-2～22-2、24 は、京都府薬務課が独自に実施した項目です。

1 調査対象

調査協力者：京都府内の大学生・専門学校生

実施期間：令和7年4月1日～12月31日

調査方法：Microsoft Forms を用いた Web アンケート

有効回答数：1017

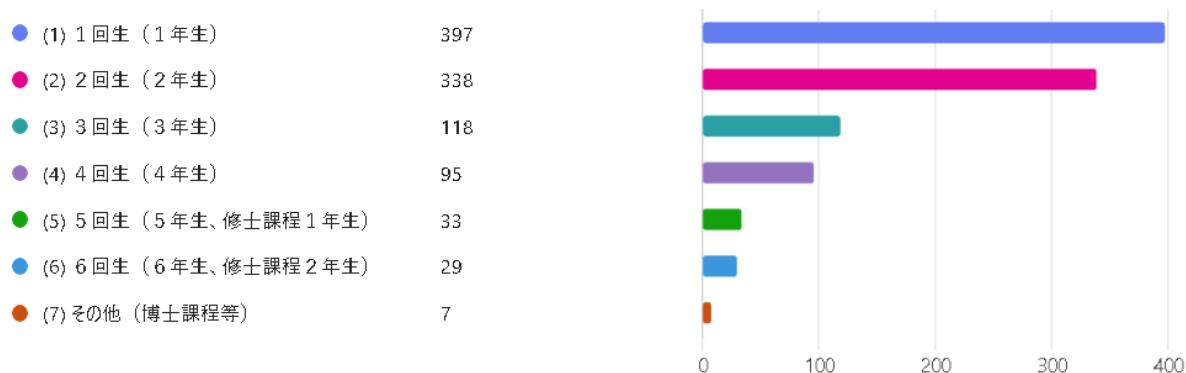
2 集計結果

各質問への回答状況は、以下の集計表のとおり。

回答日

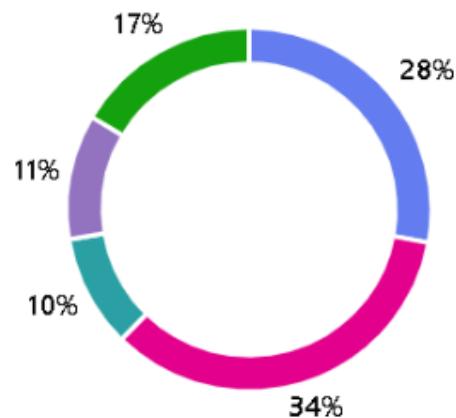
令和7年4月	340
令和7年5月	63
令和7年6月	1
令和7年7月	1
令和7年8月	0
令和7年9月	395
令和7年10月	217
令和7年11月	0
令和7年12月	0

学年



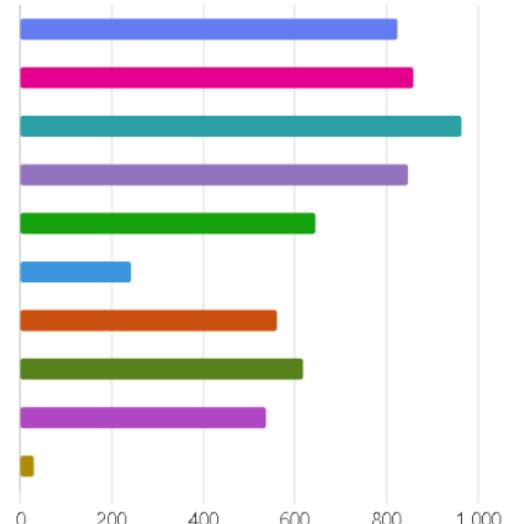
質問1 あなたは、薬物乱用問題について危機感や不安を感じていますか？(1つ選択)

- (1) 非常に感じている 284
- (2) ある程度感じている 350
- (3) どちらともいえない 102
- (4) あまり感じていない 113
- (5) ほとんど感じていない 168



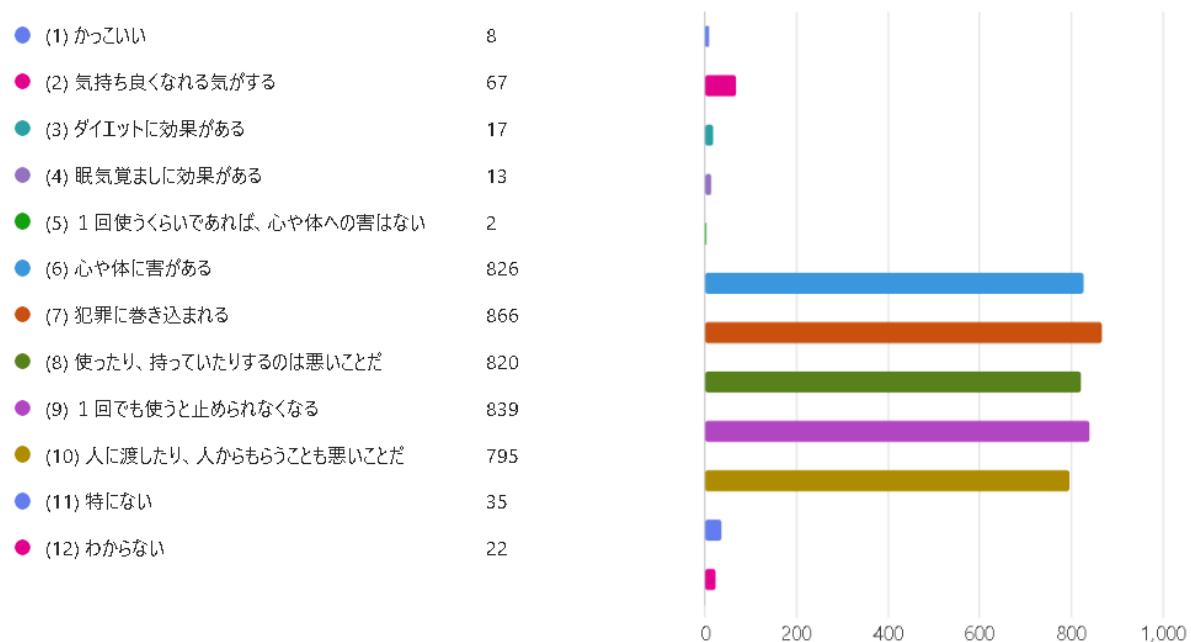
質問2 あなたは、以下の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)

- (1) 有機溶媒（シンナー、トルエンなど） 823
- (2) 覚醒剤（シャブ、スピード、エスなど） 858
- (3) 大麻（マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど） 963
- (4) コカイン（コーケ、スノウ、クラックなど） 846
- (5) あへん類（ヘロインなど） 644
- (6) LSD（アシッド、フェニックス、ドラゴンなど） 241
- (7) MDMA（エクスタシーなど） 560
- (8) いわゆる危険ドラッグ（脱法ハーブなど） 617
- (9) 大麻類似成分（合成カンナビノイド）含有食品（大麻グミなど） 536
- (10) 知っているものはない 29



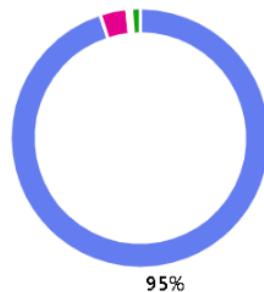
(次の質問以降は、質問2であげた薬物についてお聞きします。)

質問3 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数選択可)



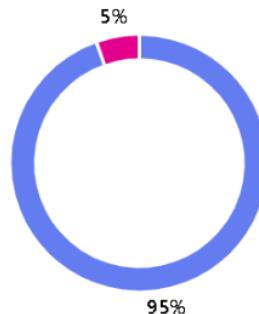
質問4 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなると思いますか。(1つ選択)

● (1) 罚せられる	966
● (2) 罰せられるものもある	34
● (3) 1回くらいなら、罰せられない	2
● (4) 罰せられることはない	4
● (5) わからない	11

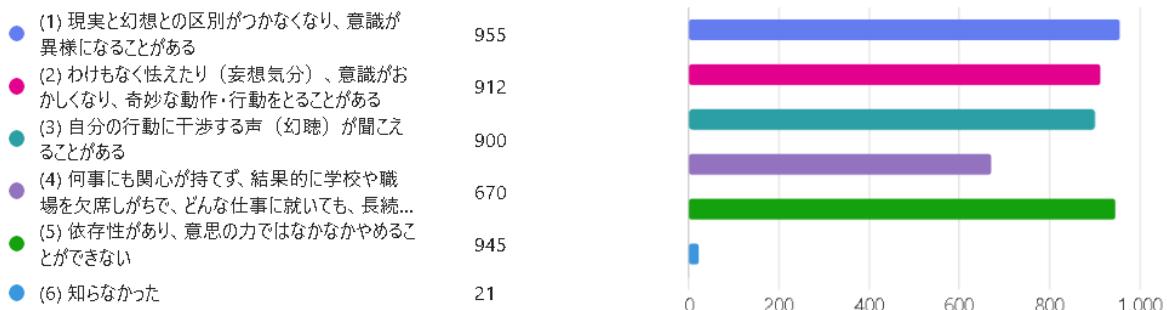


質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。(どちらかを選択)

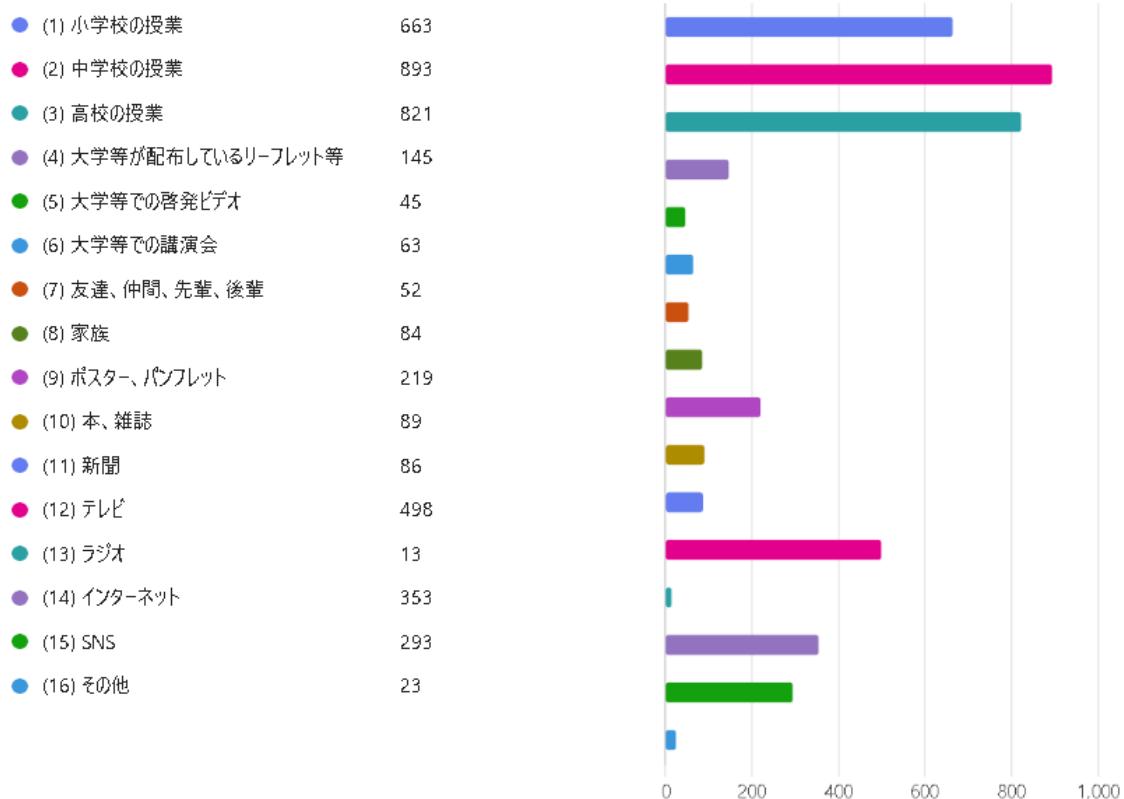
● (1) あった	962
● (2) なかった	55



質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下のようになることがあるのを知っていましたか。(複数選択可)



質問7 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数選択可)

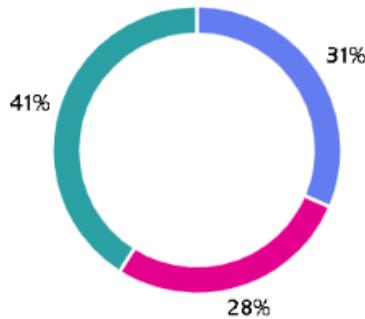


その他（一部抜粋）

- 大学、大学院や専門学校での講義、教科書、本
- 映画、ドラマ、アニメ、漫画、YouTube
- 海外旅行
- 警察音楽隊の啓発活動
- 薬物依存症自助グループとの関わり、使った人の実体験

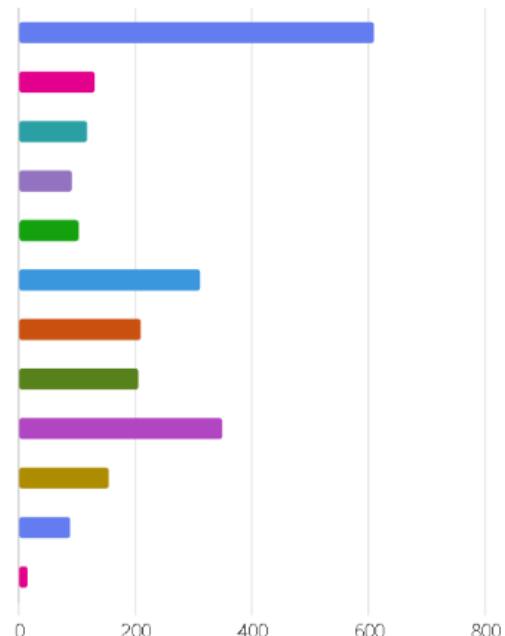
質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つ選択)

- (1) 知りたい 320
- (2) 知りたいとは思わない 280
- (3) どちらでもない 417



質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。
(複数選択可)

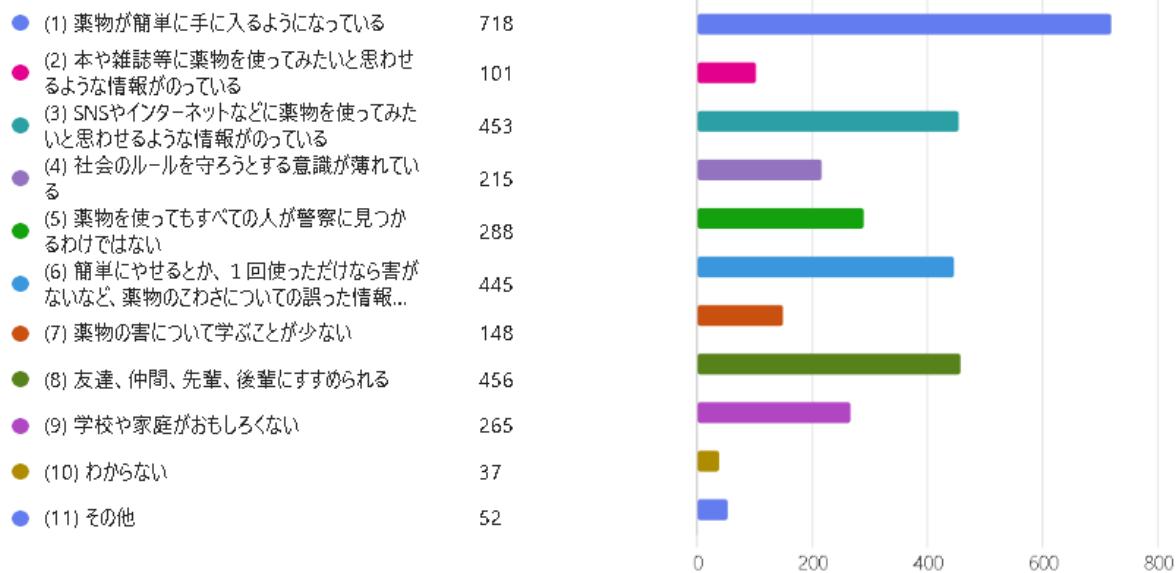
- (1) 大学等（講演会、ビデオ、リーフレット） 608
- (2) 家庭 129
- (3) 地域活動、自治体等の広報誌 116
- (4) 図書館、公民館 90
- (5) 保健所 102
- (6) 警察 310
- (7) 厚生労働省麻薬取締部 208
- (8) 病院 204
- (9) インターネット 348
- (10) 講演会、座談会 153
- (11) 特にない 87
- (12) その他 14



その他（一部抜粋）

- 小中学校・高等学校での授業
- テレビや YouTube 等の CM、YouTube での簡単なアニメ調の啓発動画、映画、SNS
- 使った人に聞く
- ある程度距離感の近い（教育実習生等）からの講義で教わる

質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。
 (複数選択可)

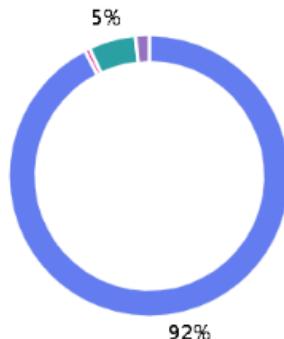


その他（一部抜粋）

- 将来が漠然とした不安に包まれていて、現実逃避がしたくなったり
- 不安になるようなものごとが多いから
- これらの理由かつ、薬物に手を出してしまうほど精神的に追い詰められていて視野が狭くなってしまう人が多いからだと思う。
- 社会に心のよりどころのない、病める人間が多い。
- 薬物に頼らないと現実逃避できないような世の中だから
- 逃げる先が薬物しかない
- SNS(主に X)では情報が偏るので、薬物を所持・使用することに躊躇いがない人たちがそのような人の意見ばかりを取り入れ、それが普通だと思うことができてしまう環境が生まれるから
- SNS の発達で薬物を一般の人でも入手できるようなルートが増えているため。昔のように先輩からなど対面で薬物を受けるのではなくネットでやり取りをすることが増えているため罪の意識を持ちにくく
- 技術の発達によって社会全体の「標準」レベルが上がっており、そこから弾き出されたり居心地の悪さを感じたりしている人が増えているから。現実からの一時的な逃げ道として薬物を使い、SNS で発信して仲間を集め、自分の居場所を作っている。
- 社会的ストレスや疲労、無力感、孤立、貧困
- 犯罪にならない、合法的な薬物が出回ってしまっていること。
- 自分なんかどうなってもいいという自棄からくる自傷行為。
- 法の穴をついたかのようなものや海外から日本に来ているように感じる
- 薬物であることを隠して渡される。

質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)

- | | |
|--|-----|
| ● (1) どのような理由であれ、絶対使うべきではないし、許されることはできない | 940 |
| ● (2) 1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない | 6 |
| ● (3) 他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である | 55 |
| ● (4) その他 | 16 |



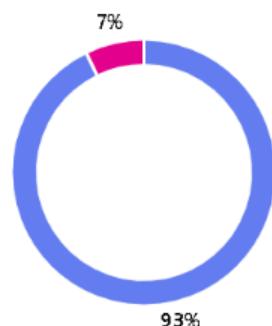
その他（一部抜粋）

- 自分は絶対に使用したくないが、犯罪と自覚して逮捕を覚悟で使用するのならば本人の意思と責任なので何も言えない
- 末期がんなどへの医療行為を除き、いかなる場合も使うべきではない。
- 有名人が薬物やって逮捕されて大騒ぎされてる時にそんなに騒ぐこと？って思うけど、個人の自由とは思わない規制すべき、他人(私)に迷惑かからなきやいいと思ってるけど、個人の自由(合法)になってしまったらする人が多くなって絶対迷惑かかるし頭悪い人だらけになつたら思考することだけが人間の良さなのに、ただ自然破壊しかしない怪物に成り下がるから嫌。
- 薬物に頼らざる得ない程苦しんでおり、痛ましい。
- 悪いことだとは思うけれど、それを単に「悪いこと」として片付けてしまっていいのかどうか分からぬ。
- その人が使うかどうかは私の人生に関わることではないので使いたい人は使えばいい
- とても仲の良い友達であれば話はしてみるが、そうでない場合はその人の使用の有無は私の人生には関係がないように感じる
- 許すとか許さないとか、かまうとかかまわないという次元ではなく、なぜ使った・使わざるを得なかつたのか、共に考えたい。

質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。(どちらかを選択)

※テレビ、映画、報道等で見たものは除きます

- | | |
|----------|-----|
| ● (1) ない | 944 |
| ● (2) ある | 73 |



質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入する

こと

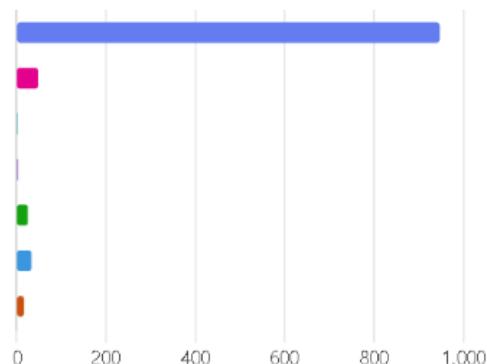
を誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

- (1) 誘われたり、勧められたりしたことない 964
- (2) 購入を勧められたことがある 8
- (3) 使用を誘われたことがある 12
- (4) 無理やり使わされたことがある 0
- (5) わからない 33



質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘わされたら、どのように行動しますか。
(複数選択可)

- (1) 誘った相手が誰であろうと、断る 946
- (2) 誘った相手によっては、断りきれないかもしれない 47
- (3) 1回くらいであれば体に害がなさうなので断らないかもしれない 0
- (4) 好奇心や面白半分から断らないかもしれない 2
- (5) 悩み事があったり、疲れたりしたら断らないかもしれない 24
- (6) わからない 32
- (7) その他 16

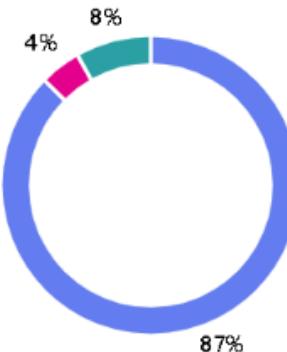


その他（一部抜粋）

- 通報
- 誘ってきた人とは今後あまり関わらないようにする。
- 誘った相手に止めるよう説得する（可能なら）
- それで人生が終わってもいいなって言う気持ちだったらどうなるかわからない

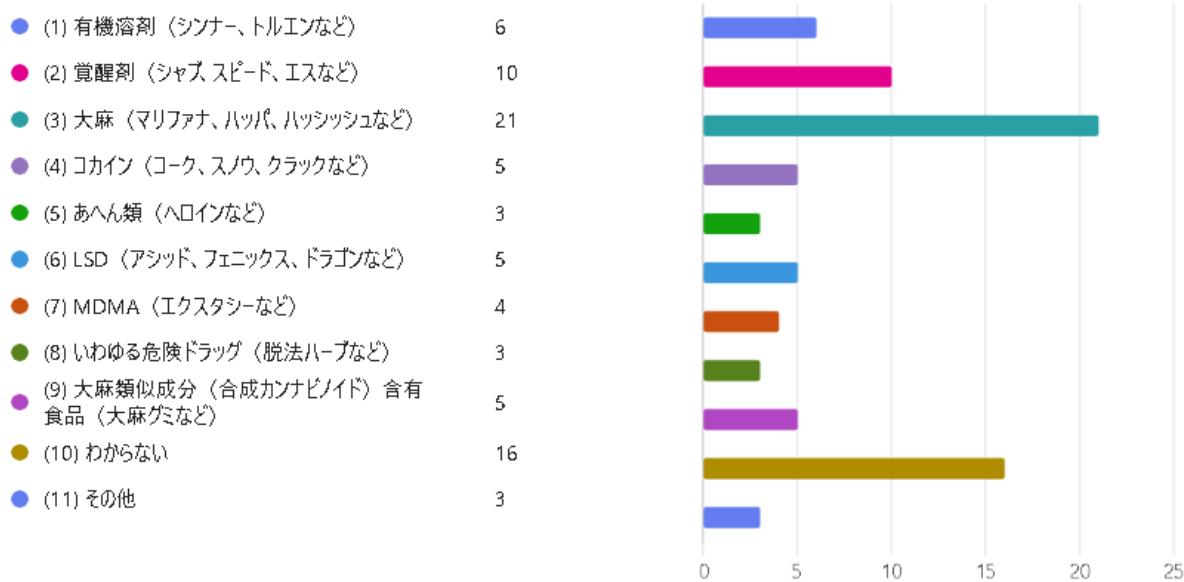
質問15—1 あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している（いた）人がいますか。（1つ選択）

- (1) いない 889
- (2) いる（いた） 45
- (3) わからない 83



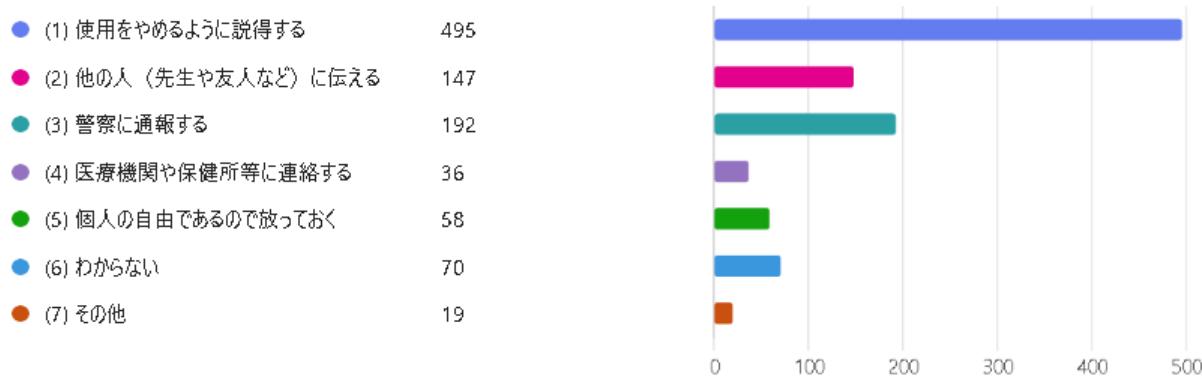
質問15—2 それはどの薬物でしたか。（複数選択可）

(質問15—1で「(2)いる(いた)」を選択した人だけお答えください。)



※その他記載なし

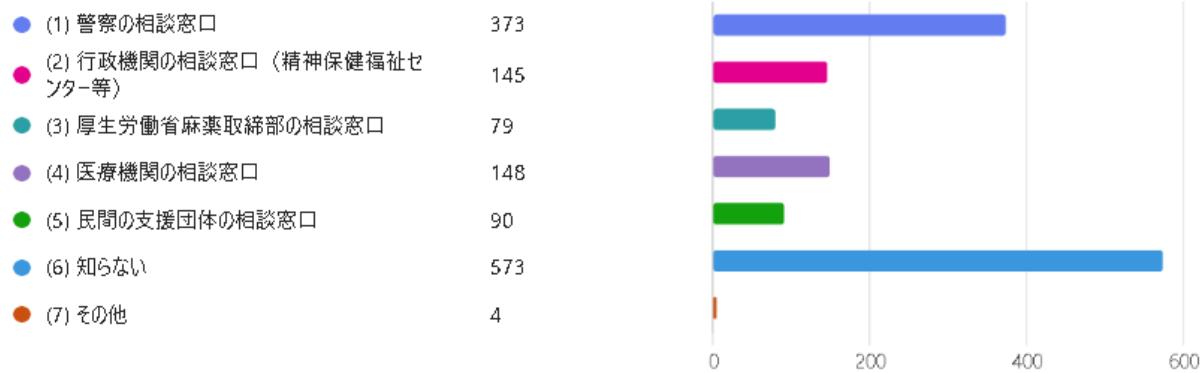
質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つ選択)



その他 (一部抜粋)

- 本人が使いたくて使っているのか、それとも依存性によってやめられないのかを確認する。
依存性のせいなら病院に連れて行く。使いたくて使っているなら話を聞く。
幻聴が聞こえたり、意識が朦朧としたりという症状があれば医師に相談する。
- 自首を促す、距離を置く
- 悩みがあればもちろん聞くが、自分一人では到底解決出来ない問題ばかりだと思うので周囲の人に助けを求める。また、悩みを持っていたとしても、所持していることや使ってしまったかもしれないことは確定していることなので警察に通報することも忘れない。

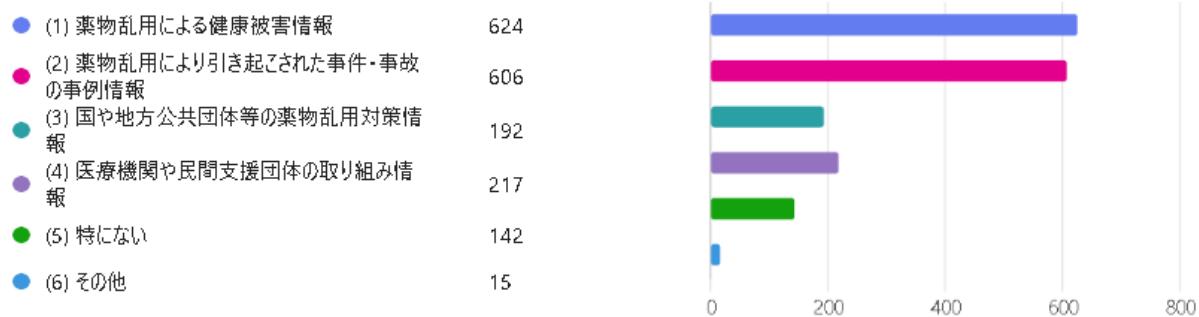
質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可)



その他（一部抜粋）

- 薬物依存のピアサポート団体

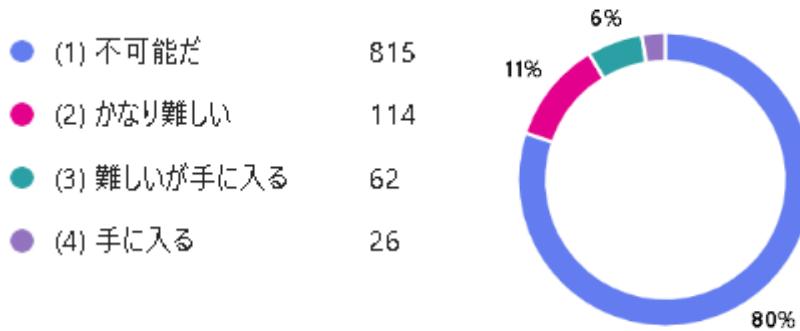
質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何ですか。（複数選択可）



その他（一部抜粋）

- どのような場所で薬物が流通しているのか。
- 薬物を使った人の末路、その後の人生、断り方、相談できる場所。
- 薬物に頼らずに楽になる方法。
- 薬物を勧められたきっかけや場所、団体、年齢、職業、薬物に依存する人たちの平均年収
- SNSなどで薬物を誘われる手口について
- 薬物使用に関して、自分も例外ではないという意識を持たせるための情報。
- 薬物の見た目と売人の風貌。
- その人間が使いたいと思わせる理由を否定する内容。

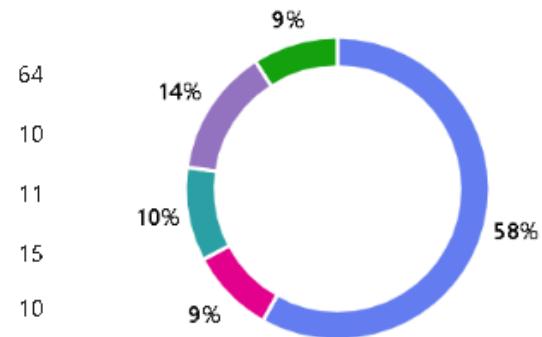
質問19—1 あなたは、これらの薬物入手することが可能ですか。（1つ選択）



質問19—2 入手可能と考えた理由は何ですか。(複数選択可)

(質問19—1で「(3) 難しいが手に入る」または「(4)手に入る」を選択した人だけお答えください。)

- (1) SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから
- (2) SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから
- (3) 友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから
- (4) 繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから
- (5) それ以外



質問19—3 それ以外に入手可能と考えた理由は何ですか。

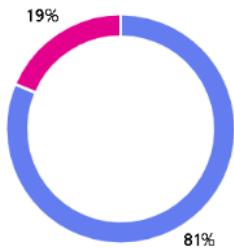
(質問19—2で「(5) それ以外」を選択した人だけお答えください。)

- 海外では合法な国があるから
- 自生しているケースがあるため
- 薬品には違いないため知識と設備があれば自分で用意できる
- 必要としている人がいるならどんなものでも手に入るようになっていると思うから

質問20 あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合成アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物にな

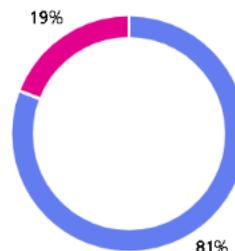
っていることを知っていますか。(1つ選択)

- (1) 知っている 828
- (2) 知らなかった 189



質問2 1－1 あなたは、「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」が社会問題になっていることを知っていますか。(1つ選択)

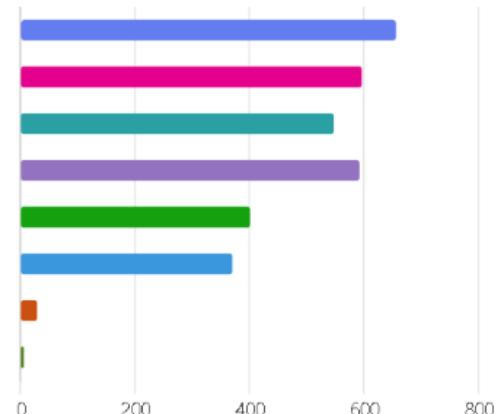
- (1) 知っている 823
- (2) 知らなかった 194



質問2 1－2 「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」について、あなたが知っていることは何ですか。(複数選択可)

(質問21－1で「(1) 知っている」を選択した人だけお答えください。)

- (1) 重篤な健康被害を引き起こすことがある 655
- (2) 依存症になることがある 595
- (3) 生きづらさなどの心理的孤立による不安を解消するために、過剰摂取する人がいる 546
- (4) 10代-20代の若年層で多い 591
- (5) 乱用の恐れのある市販薬の一部について 400
は、薬局等で購入制限がある
- (6) 他人の共感を得るため、SNS上で大量の市販薬や過剰摂取の報告をする人がいる 369
- (7) 言葉は知っているが詳しくは知らない 28
- (8) その他 5

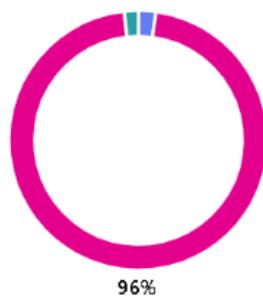


その他（一部抜粋）

- 薬局での購入制限ある上で他の薬局へハシゴしたりして入手していることもある。また、SNSで所為東横界隈と呼ばれる人達の間でも、出回っておりその中には危険ドラッグがあるというものが稀に出てくる。
- 記憶力の低下。
- 死にはしないが非常に気分が悪くだけなる
- 精神科に医療保護入院させられる

質問22－1 あなたは、「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」をしたことがありますか。
(1つ選択)

- (1) ある 22
- (2) ない 977
- (3) 回答しない 18

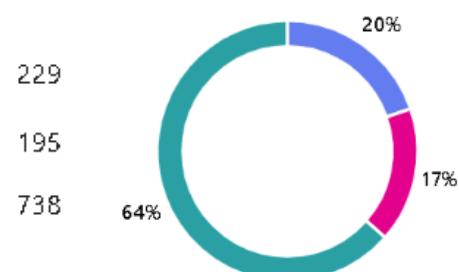


質問22－2 「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」をした理由は何ですか。
(質問22－1で「(1) ある」を選択した人だけお答えください。) (一部抜粋)

- うつ病
- あわよくば死ねないかなと思った
- 一度使用した時に効かなかつたため
- 気持ちを楽にしたかったから
- 本当に楽になれるか試した（1回きりでやめた）
- 自殺目的、精神的苦痛から逃れる為
- いじめられて希死念慮があったから
- どんなもんか試してみたかった
- 薬を飲んだのを忘れて同日にもう一度服用
- 現実逃避

質問23 2023年12月に「大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律」が成立し、2024年12月12日にその一部が施行されていますが、あなたはこの施行内容について知っていますか？（複数選択可）

- (1) 医療目的以外で大麻を使用・摂取することが違法となつた。
- (2) 大麻の所持・譲受・譲渡・輸出入・製造に対する刑罰が厳罰化された。
- (3) 知らなかった。



質問24 薬物乱用防止について、あなたの御意見を自由に御記入ください。(一部抜粋)

- 薬物について何らかの行動を示した人を罰することも重要だと思いますが、人々(特に若年層)が薬物に関わることがないように対策を行うことも重要であると感じています。もっと社会全体で薬物に対する恐怖感を作り上げていくことが薬物に手を出す人の数を少なくするのではないかと考えています。
- 全面的な禁止と罰を徹底化する他ないと思います。
- 薬物による自傷行為が無くなると切に願います。
- 高校、大学で薬物乱用はダメ、体に害がある、犯罪だ、こんな種類の違法ドラッグがあると言われたとしても、具体的でないため、正直あまり気をつけようと感じない。薬物乱用をした人がどうなってしまうのかをもっと詳しく話してもらう方が印象に残り、ノリで手を出していいものではないのだと多くの人に伝わると思う。
- 薬物を勧められたら断れると今は思っているが、本当にすすめられたら動搖してしまうのではないかと思った。また、勧めてきた人とは距離を置くべきだと思うが、その勧めてきた人がたくさんの人々に距離を置かれて孤立してしまった時、その人が薬物から抜け出すにはどうすればいいのか疑問に思った。
- 知らない間に摂取させられていたということ(道でただのお菓子とみせかけて大麻グミを配るなど)がないよう、知らない人からもらったものを簡単に口にしないなどという根本的なことについても注意喚起に加えるべきだと考える。
- 海外留学を経験した方々から、街中で薬物を使用している場面を目撃したり、地域全体に薬物の匂いが充満しているような場所に滞在せざるを得なかったという話を聞きました。日本では違法な薬物と距離を置くことが比較的容易でも、海外ではそのような状況にどう対処すればよいのかを知りたいと感じています。
- 薬物を防止するだけでなく、使ってしまったとの対処や家でどう付き合うかなども含めて伝えていくべきだと思います。
- 非常に危険行為であり、他人に危害が加わる可能性があるので辞めるべきである。
- 1度やってしまったら戻れないから、とにかく関わらないことがいちばん大事だと思う
- SNSなどで隠語が使用され、知らないうちに関わってしまいやめられなくなるなど、やらないという意思だけでなく知識も必要になっている。そのため、隠語などの知識を子供のころから知っているようになると良いと考える。
- 小学生からの積み重ねの教育で知識が少しはあるから繰り返し学ぶのが効果的だと感じた。
- 私はしないと思って生活しているが何が起こるか分からないので油断することなく薬物乱用にアンテナを張ってこれからも過ごしていきたい。
- どうして薬物を使うようになったのかの原因を探らないと依存はなくならない。ただ罰するだけでは依存は消えないと思う。
- 授業内での動画や教材で薬物の危険性について学んで来たが中毒者や実物を見たことがないからあまり実感はわからない。